

美夫君志万葉集入門

改訂版

七十八周年の本年度は、左記の如く、夏の全国大会を中心に、例会は「万葉への招待」「万葉集各論」「入江泰吉写真展・講演会」「万葉ウオーク」「やさしい万葉集入門」、諸行事として「美夫君志万葉ゼミナール」を予定し、万葉集の研究を進めてまいります。是非ご参加下さい。

尚、六月は「入江泰吉写真展・講演会」を開催しますので、通常の例会はありません。万葉ウオーク「かぎろひ号で行く明日香」の開催が九月から十月に変更します。内容も大幅に変更予定です。詳しくは、美夫君志会ホームページをご覧ください（例会時にもご案内いたします）。

(一) 例会

日時 毎月一回 第二日曜日午後一時半～四時
会場 中京大学「センタービル二階ヤマテホール」（名古屋市中昭和区八事本町一〇一二、地下鉄「八事」⑤番出口直結）

A 万葉への招待（万葉人の見た風景）
自然との交感（四月十日）近畿大 教授 村瀬 憲 夫 実景と幻影（十一月十三日）中京大 佐藤 隆
万葉びとの山（五月八日）國學院大 教授 城崎 陽子 佐保川のほとり（十二月十一日）武庫川女子大 影山 尚之
霧の表現性（八月二十一日）専修大 大浦 誠士 万葉かぎろひ考（二月十二日）愛知県立大 大脇 由紀子
明石の門（九月十一日）中央大 岩下 武彦 秋風を詠む歌（三月十二日）皇學館大 大島 信生

B 万葉集各論

民にねざす歌人（四月十日）三重大 教授 廣岡 義隆 万葉の神話世界（十一月十三日）鹿児島工業高等専門学校 田中 智樹
軽太子と衣通王（五月八日）奈良県立万葉文化館 井上 さやか 万葉びとの掃除（十二月十一日）奈良大 上野 誠
不破関と万葉（八月二十一日）東邦高校 木野村 茂美 遷都の万葉歌（二月十二日）名古屋女子大 竹尾 利夫
月と時間（九月十一日）駒澤大 中嶋 真也 万葉仮名の体系（三月十二日）奈良大 鈴木 木 喬

C 入江泰吉万葉写真展

（六月二十六日（日）～七月三日（日））※図書館・学術棟（1号館）1F（初日は午後一時～、最終日は午後三時）
万葉講演会（大津皇子の見た夕陽）（六月二十六日（日））※図書館・学術棟（1号館）3F「清明ホール」（午後二時～三時半）
大阪府立大 村田 右富実

D 万葉ウオーク「かぎろひ号で行く明日香」

内容 近鉄特別列車で奈良県立万葉文化館等を訪ねます。
和歌山大 菊川 恵三 名古屋女子大 竹尾 利夫

E やさしい万葉集入門

写本でよむ万葉集Ⅱ 鶴見大 新沢 典子
万葉集を読む楽しみ 梅花女子大 市瀬 雅之

(二) 全国大会

日時 七月二日（土）～七月三日（日）
会場 中京大学「八事キャンパス（教室未定）」

A 招待研究発表会（七月二日（土））

甲 南大 廣川 晶輝 新潟経営大 西澤 一光
国立歴史民俗博物館 仁藤 敦史

B 研究発表会（七月三日（日））

研究発表者募集 六、七名（発表時間三十分 申し込みは要旨（要旨原稿）とそのデータを三月末日まで）
万葉に関する未発表の研究（発表決定者は発表資料の原稿を五月十五日（日）必着）

(三) 美夫君志万葉ゼミナール

日時 九月十日（土）～十一日（日）
会場 旅館かう楽（名古屋市瑞穂区苗代町二十三番十六号、名鉄・地下鉄「堀田」）
巻九の諸問題

中京大学大学院生 大矢 修造 東京大学大学院生 山崎 健太
奈良大 鈴木 喬 山梨学院大 塩沢 一平

(四) 万葉研究誌「美夫君志」第九十三号以下続刊

第三十号～第四十五号（セット価格二〇〇〇円）
第四十六号～第九十二号（各三二〇〇円）（創刊号～第二十九号品切）

会費 年額 四、〇〇〇円（学生 三、五〇〇円）（「美夫君志」購読と例会出席とを含む）
入会申込 住所・勤務先（又は学校・学年）・氏名を明記し、会費を添えて、
本会事務局又は例会会場受付のいずれかにお申し込みください。

美夫君志会

〒466-8666 名古屋市中昭和区八事本町一〇一―二
中京大学文学部日本文学研究室内
振替口座 〇〇八二〇一六一五四三七六
TEL (〇五二) 八三五―七一―